

しあげマスター 3年 考え方のヒント

p.30-31 「17.やってみよう！」

1 まず、それぞれの数を考えてみましょう。

エは、「600の100倍」です。

10倍すると位は1つ上がり、100倍すると位は2つ上がります。

数の見方はこれから勉強する「小数」や「1億をこえた数」でも大切なので、しあげマスターの10～11ページでしっかり復習しましょう。



2 次の手順で考えましょう。

1. 鉛筆の本数を6人で等分する。

2. 等分した本数より、1本ずつ多くもらえるとときの鉛筆の本数を考える。

3. 鉛筆の全部の数を比べて、足りない本数を求める。

5年生で勉強する「倍数」という考え方を使っても解けます。



3 コンパスでは、針を刺したところが円の中心です。

それぞれの円の中心がどこにあるかを考えてみましょう。

4 ① 「おそくとも」なので、間に合うバスの中で、いちばん最後に出発するものを選びます。

午前9時の35分前は…と順番に考えていきましょう。

② ゆみさんの家族は、おとなが2人、子どもが3人と最初に書いてあります。

バス代を大人と子どもでそれぞれ求めて、合計金額を求めましょう。

これができていたらすごい！（ほめほめポイント）

「しあげマスター」の算数ページをやりきったのはすごい！

たくさん問題を解いて、「やりきる力」が身についたね！



1 ア～エの数がわかっているならば、最初のステップはクリアです。

わからなかったものを復習して、いろいろな数の見方を育てましょう！

4 ① 午前9時の35分前が答えられていれば、時計や時間の感覚はばっちり

身についています。バスの時刻も読めて正解できていれば、たくさん情報の中から大事なことを見つける力も身につけていると言えます！